

# 商店街や工場内の

## “真の見える化” サポートシステム

有限会社 イーダブルシステム

代表取締役

森元

賢一さん



森元 賢一さん

平成23年度 採択事業

### 押し圧も感知できる 3D センサーを開発

駅の券売機や銀行 ATM、スマートフォンなどの普及により、近年身近になったタッチパネルに用いられる触覚センサー。そのセンサーに独自の技術を組み込んで開発された「電子黒板」を製造・販売しているのが、有限会社イーダブルシステムの森元賢一さんです。

タッチパネルは、従来 2 枚の特殊なフィルムで構成され、触れたものの縦と横の動きだけを感知していますが、3 枚目のフィルムを真ん中に挟み込むことで「押し圧」も感知できる 3D (3 次元) センサーを開発。これにより、指 1 本で画像の拡大や縮小ができ、押し圧で速度も調節できるようになりました。これまでの 3D センサーより構造がシンプルなため、コストなどの面で競争力があり、従来の液晶タッチパネルと比べて壊れにくいという利点もあります。

### 直感的に操作できる「電子黒板」

「電子黒板は、『インタラクティブ・ホワイトボード』、『電子情報ボード』とよばれることもあります。当社では、独自の 3D センサーをホワイトボードの全面に内蔵しており、プロジェクタで投影された画面に触れるだけで操作できます」と語る森元さん。ホワイトボードはプロジェクタ用のスクリーンとしてだけでなく、パソコンを操作するタブレットの役割もあります。パソコンや DVD などの画像・映像を表示するだけでなく、すぐにインターネットに接続して情報を調べたり、パソコンの画面上にホワイトボードを通じて書き込みをして使うことができ



3次元入力電子黒板 (製品名: EW6100)

### 鉱工業品の活用

ます。「従来の黒板とパソコン、映像機器などが一体化したものでありながら、パソコンの操作に不慣れな方にも直感的に操作できる、画期的な製品です」。

### より開かれたインタラクティブな 3D 環境

通常のタッチパネルは、指でもペンでも入力できますが、押した位置の情報しか入力できず、押し圧はわかりません。森元さんは、その押し圧も検知できるタッチパネルセンサーを開発したことで、入力文字の筆圧をも表現することができるようになりました。



展示会出展の様

ホワイトボード上に文字やイラストを書き込むとセンサーが反応し、文字の書き込みはもちろん文字の筆圧における線幅の自動調整や押し圧に応じた映像の拡大・縮小が簡単に行えます。「書く、サインする、触れる、たたく、両手で触るなどの自然な感覚のまま入力でき、しかもその強さを反映できる 3D タッチパネルです。今までの一方的な情報の流れに対し自らが選択し入手できるのです。これは、より開かれたインタラクティブな(相互にやり取りできる) 3D 環境を創造することでしょう」と、森元さんは意気込みます。主に企業でのプレゼンテーションや、教育現場で利用されているほか、消費者が画面に触れて必要な情報を引き出す「電子情報板」分野での活用が期待されています。

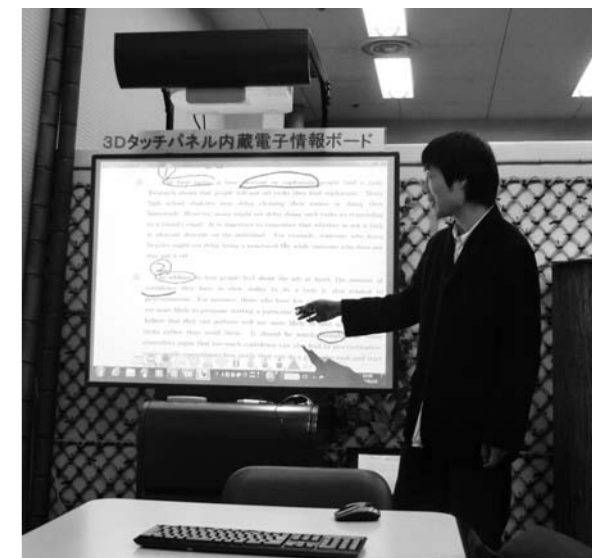
### 自分の欲しい情報が簡単に入手できるシステムづくりを目指して

この技術を応用して森元さんが新しく提案するのは、「真の見える化」サポートシステム。それは、複数のカメラを設置して多くの映像を一つの大画面に表示させることで、利用者が自分の欲しい情報をタッチパネルで簡

単に探し出せることができるシステムです。例えば、これを商店街や大規模小売店の入口に設置すれば、利用者はお店の案内や店内の様子を見たり、気になる商品や場面を見つけたらその部分だけを拡大させて見やすい大きさに表示することができます。また、工場では見学者に企業のホームページを表示しながら、複数のカメラで工場内の状況を映し出すことで製造工程の詳細を説明したり、社員向けには社内の業務連絡に活用することも可能になります。

今後、インタラクティブな機能は、iPad のような 2 次元表示の小型端末にとどまらず、3D 画像に対応した大型端末にも波及し、広告、教育、展示媒体市場に 3D 情報端末として広まっていくでしょう。「この新しいヒューマンインターフェースを指向した入力センサーデバイスこそ、当社が独自に開発した 3D タッチパネルです」。

「地域の新しい技術を持った企業との連携を強化するとともに、社会に役に立つ製品の創出で世界に羽ばたく会社に成長するよう、全力で取り組んでまいります」。この優れた 3D センサーの技術を核に、様々な分野で新製品を開発する予定だと森元さんは語ります。



電子黒板体験会・セミナーの様

### 事業概要

有限会社イーダブルシステム

<http://www.ewsystem.com.jp>

代表：森元 賢一

業種：その他製造業 センサー開発業

創業：平成 17 (2005) 年 設立：平成 17 (2005) 年

住所：〒 619-0232 相楽郡精華町桜が丘 1-8-16

TEL：050-5000-9193 FAX：050-5000-9193